

## 第1学年 道徳科学習指導案

日 時 令和4年9月6日(火) 5校時  
児 童 1年2組 19名  
指導者 東 彩由海

1 主題名 こまって いる ともだちに【B 10 友情, 信頼】

2 教材名 「くりの み」(「新・みんなのどうとく 1」 学研)

3 主題設定の理由

### (1) 価値観

学習指導要領第1学年及び第2学年の内容の「B 主として人との関わりに関すること」の「10 友情, 信頼」は「友達と仲よくし, 助け合うこと」とある。これは, 友達関係における基本とすべきことであり, 友達との間に信頼と切磋琢磨の情神をもつことに関する内容項目である。この内容項目は, 次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
友達と仲よくし, 助け合うこと。	友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。	友達の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

児童にとって, 友達関係は最も重要な人間関係の一つであり, 友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。よりよい友達関係を築くには, 互いを認め合い, 学習活動や生活の場面を通して理解し合い, 協力し, 助け合い, 信頼感や友情を育てていくことができるように指導することが大切である。身近にいる友達と一緒に, 仲よく活動することのよさや楽しさ, 助け合うことの大切さを実感できるようにするために, 友達と助け合ってよかったことを考えさせながら, 友達と仲よくする大切さを育てていきたい。

### (2) 児童観

この段階においては, 幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず, 友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しい。

本学級の児童は, 友達と学校生活を共にしていく中で, 一緒に学習したり, 仲よく遊んだりする経験を積み重ねている。友達が困っているとすぐにそばに行って助けてあげることもできている。例えば, 給食をこぼした人がいれば, 一緒に拭いてあげ, 怪我をして泣いている人がいれば, 慰めてあげている。しかし, 友達を助ける背景には, 先生に認められたいからという気持ちが大きく影響している。また, 自分を犠牲にしてまで友達のために何かをするということではなく, 気になるから行く, 必要以上に声をかけるという自分本位の行動も見られる。友達のことを思ってお互いに助

け合い、友情を深めようとする心情を育てたい。

### (3) 教材観

本教材は、友達に助けられたときの気持ちを考えることを通して、ねらいに迫るものである。

どんぐりを見つけたのにもかかわらず、それを一人で食べたり、落ち葉で隠したり、何も見つからないと嘘をついたりするきつねと、二つしかないくりのみのうちの一つをきつねに渡すうさぎの姿が対比的に描かれている教材である。

自分のことしか考えていないきつねと、困っている友達を助けようとするうさぎの姿から、友達とどのような関係を築いていくことが大切なのかを考えさせることができる教材である。

## 4 本時の指導

### (1) ねらい

身近な友達と仲よく活動し、助け合うことの大切さに気付き、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てる。

### (2) 本時の手立て

#### ①少人数における話し合いの手立て

- ・ペア学習を取り入れ、友達の考えを聞き、多様な意見を知る。

#### ②全体の話し合いの手立て

- ・役割演技を行い、登場人物の気持ちを自分事として考えさせ、全体で共有する。

### (3) 展開

	学習活動 発問 (○)・主発問 (◎)・予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価
つかむ 5分	1 教材への関心を高める。 ・冬の森の写真を見せる。 ○どんな感じがしますか。 C 寒そう。食べ物がなさそう。	・冬の森の写真を見せて、食べ物がない厳しい状況だということを考えさせる。
深める 35分	2 教材文を基に話し合う。 (1)教材文を読む。 ・簡単にあらすじをおさえる。  (2)きつねとうさぎの気持ちを考える。 ○きつねがどんぐりを食べたとき、どんな気持ちだったのでしょうか。 C おいしい。おなかいっぱい食べられる。	・くりのみをもらおうと嬉しいはずなのに、きつねが泣いていたことに触れる。  ・笑顔でどんぐりを食べていたことを捉えさせる。

	<p>○きつねがどんぐりを隠したのはなぜでしょう。  C だれかに取られたら大変だから。  C 生きるため。</p> <p>○うさぎはどんなことを思っくりのみをあげたのでしよう。  C きつねがかわいそうだから。  C 友達だから助けてあげよう。</p> <p>(3)道徳的価値について考える。</p> <p>◎きつねが涙を流したとき、どんなことを思ったのでしよう。  ・役割演技をする。  見本 うさぎ：教師 きつね：子供  うさぎが、「どうして泣いているの？」と聞く  C うさぎさんが優しいから。ありがとう。  C ふたつしかないのに、ぼくのためにありがとう。  C うそをついてしまったんだ。ごめんね。</p> <p>○このあとふたりはどんな友達になったと思いますか。  C もっと仲がいい友達になった。  C 親友。</p>	<p>・冬の森の状況の中で、いきるための行動をしたことを捉えさせる。</p> <div data-bbox="1043 405 1445 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈対話的な学び〉  ペア学習を取り入れ、友達の考えを聞き、多様な意見を知る。  〈手立て1〉  多様な情報を収集する</p> </div> <div data-bbox="1043 685 1445 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈対話的な学び〉  役割演技を行い、登場人物の気持ちを自分事として考えさせ、全体で共有する。  〈手立て2〉  共に考えを創り上げる</p> </div> <p>・なぜ、そのように考えたのかを切り返して、価値に迫る考えを深める。</p>
<p>振り返る 5分</p>	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○これからもっと友達と仲良くなるためにしたいことは何ですか。  C 助け合う。  C 自分のことだけでなく、友達のことでも考えたい。  C 優しくしたい。</p>	<p>・ワークシートに記述させる。</p> <div data-bbox="1043 1357 1445 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇評価  ・困っている友達を助けたという思いを深めようとしているか。  (記述・発表)  振り返って次へつなげる</p> </div>

(4) 板書計画

くりのみ

森の写真

森の写真

きつね

どんぐり

どんぐり

うさぎ

もつとなかよし

しんゆう

挿絵

うさぎさんは やさしいな

ありがとうございます

うれしいな

うそをついて

しまった

じぶんのこと

だけだった

ほんとうのことをいわないと!

ごめんね

うさぎさんはふたつしか

みつけてないのに

いいともだちだな

きつねがかわいそう

おなかへっているとおもうから

ともだちをたすけてあげたい

たすけあう

やさしくする

こまっているひとがいたらたすけたい

じぶんのことだけじゃなくともだちのこともかんがえる

もつとともだちとなかよくなるために

さむそう

たべものがない

やったあ

おいしいな

おなかいっぱい

うれしい

ほかのどうぶつにとられないように

いきるためにかくそう

笑顔